

平成29年度 第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（案）

日 時 平成30年1月22日（月）14:00～16:34
 場 所 管理棟3階 大会議室
 構 成 員 8名（出席者8名）

（幹事会委員）

11号委員（がんセンター長）	増田 昌人
16号委員（沖縄県立中部病院）	朝倉 義崇
16号委員（那覇市立病院）	友利 寛文（代理：足立 源樹）
17号委員（沖縄県立宮古病院）	松村 敏信
17号委員（沖縄県立八重山病院）	松茂良 力
18号委員（北部地区医師会病院）	柴山 順子
21号委員（沖縄県保健医療部）	糸数 公
21号委員（琉球大学医学部総務課長）	金城 邦光

（陪席者）

がんセンター	渡嘉敷 留美
医学部総務課総務第二係	早野 育子
〃	新垣 遼

議事要旨

1. 平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月16日開催)について

増田議長から、資料1に基づき、第3回幹事会議事要旨（平成29年10月16日開催）について、説明及び確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

2. 平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(11月10日開催)について

増田議長から、資料2に基づき、第3回協議会議事要旨（平成29年11月10日開催）について、説明及び確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

3. 平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月10日開催)について

増田議長から、資料3に基づき、第3回協議会議事録（平成29年11月10日開催）について、説明及び確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧について

増田議長から、資料4に基づき、委員の変更について報告があった。

審議事項

1. 沖縄県がん診療連携協議会として今後取り組む項目について

2. 専門部会の再編について

増田議長から、資料5および資料6に基づき、国の第3期がん対策推進基本計画および沖縄県がん対策推進第3次計画（案）に沿って、現在の専門部会から新専門部会（案）に再編することについて説明が行われた。本件については、部会に持ち帰って意見を出すこととなった。

3. 平成30年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田議長から、資料7に基づき、協議会は5月、8月、11月、2月の第1金曜日、幹事会は4月、7月、10月、1月の第2月曜日を基本の実施としており、原案の提案について説明があった。
 なお、大きな学会は考慮しているが、出席できないようであれば、連絡いただきたいとの補足説明があった。

4. 平成29年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について

増田議長から、資料8に基づき、本幹事会での検討を踏まえて協議会へ議題提案する旨説明があり、了承された。

5. その他
特になし

報告事項

1. 沖縄県第3次がん対策推進計画について
増田議長から、協議会当日、糸数委員から報告いただきたい旨、依頼があり、糸数委員から、報告する旨、発言があった。
2. がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講率について
増田議長から、資料10に基づき、報告があり、来年度は新方式で行うため、A日程のみ受けている者はB日程(2/25)を受けてほしい。また事務職員の指定について通知があったので、確認いただきたい旨の発言があった。
3. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について
増田議長から、資料11に基づき、宜野湾高校での授業の報告およびがんサポートハンドブック改訂の報告について、調整している旨、報告があった。
4. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について
増田議長から、資料12に基づき、地域統括相談支援センター相談件数統計(H29年10月～12月)等について報告があった。
5. 厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会)(第12回)
6. 厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会)(第20回)
7. 厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)(第31回、第32回)
8. 厚生科学審議会(がん登録部会)(第8回)
9. 職域におけるがん検診に関するワーキンググループ(第4回)
10. がん診療提供体制のあり方に関する検討会(第10回)
11. がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ(第2回、報告書、第3回、第4回)
12. がんゲノム医療中核拠点病院(仮称)等の指定要件に関するサブワーキンググループ(第3回、報告書)
13. 大腸がん激減プロジェクトの活動について
増田議長から、資料13～20に基づき、まとめて報告があった。なお、添付資料についての詳細は各自確認いただきたい旨、発言があった。
14. その他
特になし

部会報告事項

増田議長から、各部会報告事項について添付の資料を各自で確認するよう発言があり、協議会当日は、部会長から報告があるとのことであった。

1. 緩和ケア部会(資料21)
2. がん政策部会(報告なし)
3. がん登録部会(資料22)
4. 研修部会(報告なし)
5. 相談支援部会(資料23)
6. 地域ネットワーク部会(報告なし)
7. 普及啓発部会(資料24)

その他

増田議長から、協議会当日、がん検診啓発ポスターコンテストの表彰状授与を予定している旨、発言があった。

審議事項1 および2 にかかる委員からの意見等

・増田議長

それぞれの部会の運営については、まずは沖縄県の計画・指標、がん政策部会の指標、厚労省の研究班の指標および測定の良い指標を見ていくことを予定している。
前回同様、沖縄県には予算について協力いただきたい。

【1(1)がんの予防について】

【1(2)がん検診について】

・増田議長

今後も協議会では、医療の部分のみを担っていきたい。

【2(5)ライフステージに応じたがん対策について】

【2(6)それぞれのがんの特性に応じた対策について】

・那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)

2(5)ライフステージに応じたがん対策、(6)それぞれのがんの特性に応じた対策について、部会等話し合う場が必要である。

【2(7)離島及びへき地対策について】

・那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)

2(7)離島及びへき地対策について、部会等話し合う場が必要である。

・増田議長

委員が替わるたびに繰り返し同じことを話し合うことになるので、原則を決めたい。オフィシャルな委員会でオーソライズしてもらう必要がある。

離島・へき地の医療全体について、沖縄県で公的に議論する場があるなら、そこで議論していただきたい。部会を作るより、地域医療構想の下にひも付けし、限られたメンバーで定期的に集まった方がよい。

・糸数委員

地域医療構想の会議は、地域医療全体について話し合う場なので、がん診療連携協議会の方が適当である。離島と関連している地域連携WGの方がよい。

・朝倉委員

がん診療連携協議会のような病院長が出席する会議で議論しても、臨床医まで情報が伝わらない場合が多い。また、がんの専門家ではないメンバーで構成される沖縄県の委員会も適当ではない。

病院事業局は県立病院の人材しか把握していないので、県内の全体的なマネジメントが必要ではないか。

・松村委員

離島の場合、医師の異動に伴い、医療が後退する場合がある。離島の病院のニーズに対して、大学病院の人事が追いついていない。新専門医制度の専攻医の応募状況を見たが地域医療が少なく、厳しい状況である。

・金城委員

医師派遣については、新専門医制度により、ある程度専攻医が大学病院に集中する可能性が高く、大学病院から離島・北部への派遣が見込まれているが、実際できるかは現時点ではわからない。地域枠の学生に期待したい。

・松茂良委員

八重山では、毎年医局員の半数が入替わっている。そのような医局で、サステナビリティ(継続性)が維持できるか。現状では、人材育成ができない。

病院事業局が行う人事だけでは解決できないので、がん医療の人材にかかるスキームを保健医療部に作っていただきたい。

・那覇市立病院 足立氏

離島では完結できない医療分野があるため、沖縄県を中心に、経済面における患者支援に取り組んでいただきたい。

・糸数委員

以前は、優待価格でのホテル利用について募集したが、全く実績がなかった。今年度から、周辺離島からの渡航代、宿泊費等補助している。今後は、市町村がウィークリーマンションを借り上げた場合も市町村の半分を県が補助することになっているため、市町村において対象範囲を拡大する可能性がある。

【地域連携パスについて】

・松村委員

地域連携パスについて、現状では電子カルテとの整合性がない。紙に書き込んでもカルテ上は反映されない。他の病院はどのように対応しているのか。

・那覇市立病院 足立氏

ていーあんだパスは、訪問看護ステーション等地域に戻ったときに電子カルテだと使用できないので、紙で対応している。

・増田議長

病院によっては、テンプレートを別に作って対応しているところが多い。メーカーおよびバージョンが異なるため、今のところ他に名案はない。離島と本島をつなぐよいツールで、最低限の質の担保ができるが、一方でパスにより残念ながら仕事量が増えているので、広がっていないのが現状である。

【移行医療について】

・増田議長

AYA 世代の小児科から内科への移行医療をカバーする部署がないことについて、全国的に問題となっている。移行医療等について、今後、協議会等の場で、沖縄県から情報をフィードバックしていただきたい。

・松茂良委員

先天性心疾患で移行医療に取り組みつつある。沖縄県でも取り組んでいけば、部会がなくても稼働していくと思う。

・糸数委員

先天性心疾患および小児慢性難病の移行期に同じ問題を抱えていて、今年度末までに各県の拠点について国から指示が示される予定である。

【高齢者のがん対策について】

・増田議長

若い人と同様の治療を行ったことによる合併症の問題、認知症等とインフォームドコンセントの問題、医療費高騰の問題がある。医療者側としては、高齢者総合的機能評価を使用し、全ての高齢者をチェックした上で、抗がん剤治療等を行うように、がんサポート学会が推奨しているが、他の学会との兼ね合いや、高齢者総合的機能評価が煩雑だということで、高齢者総合的機能評価の使用は1%未満となっている。

・糸数委員

高齢者のがん対策についても、今後、国のガイドラインが示される予定である。

【各分野毎で話し合った内容の共有について】

・増田委員

各分野毎で話し合った内容について共有する必要がある。放射線治療の均てん化について、教えていただきたい。公表することは可能か。

- ・那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)

沖縄県の全ての放射線治療医、放射線治療に携わる技師、看護師、医学物理士が一同に介して2ヵ月に1回行われているミーティングにて、放射線治療の均てん化について話し合っている。沖縄県の3次計画にかかるパブリックコメントについても、ミーティングで話し合った結果を提出する予定である。放射線治療の均てん化については、前立腺がんについてすでに話し合いを行い、今後は他のがんについても行っていく予定である。独自の統計もとっている。沖縄県医師会で内容について発表しているため、他の場においても公表できる可能性が高い。

- ・金城委員

先端医療実用化推進事業の代表者である琉大病院の平安名医師に参加していただくことも可能だと思われる。

- ・増田委員

沖縄県外科会においても、手術に関して、テーマを決め、沖縄県全体で均てん化にむけ取り組む方向で検討していると伺った。

- ・松村委員

沖縄県外科会では、疾患別に情報提供のための小さな勉強会を行っている。治療データを持ち寄るのではなく、新しく何がはじまっているのかを共有し合うような勉強会である。NCDに登録しているとデータを持ち出しにくい。がん登録データとNCDを合わせたようなデータがあれば、術式も予後もわかるが、現在はそれがない。

- ・増田議長

NCDについては、ほとんどの病院で限られた者のみが確認し、他の職員には定期的にフィードバックされていない。